



編集・発行 湘南希望の郷
〒252-0825 藤沢市瀬郷 1003
TEL0466-48-4500

Index

- いつもと同じ？（違う？） 郷のお正月 …… P1
- コロナに思う / 摂食指導・専門研修に参加して …… P2
- せせらぎ会・希望のバトン …… P3
- 行事予定・編集後記 …… P4

世界中で新型コロナウイルスは今でも感染者増加の一途をたどり、感染防止を考えると様々な活動等は慎重に用心してかからねばなりません。外部の行事のほとんどは中止になったりしたものの、ここ希望の郷では、念入りの消毒とソーシャルディスタンスで密にならないように工夫をした形でのプログラム活動などを行ってきました。そして今年のお正月、ゆったりとお過ごし頂くために「いつも通り」を、ということになりました。家に帰って新年を迎えていた方は少し違うお正月になったかもしれませんが、住人さん全員で迎えたお正月、お節料理に書初めにお茶会と「今年1年の幸せを」と祈りつつ皆で楽しくお正月を満喫しました。

1月14（木）、15日（金）に**お茶を楽しむ会**を行いました。今年はコロナ禍でお茶の先生をお呼びできず、代わりに職員が抹茶を立ててお出しして…ということは難しいので、今回は煎茶と和菓子屋さんの季節の練り切りを準備し、楽しんでいただきました。例年と違うお菓子を見て「かわいい」「きれい」と、一つずつ手作業で繊細に作られたお菓子を味わいながらお茶を楽しみました。



1月7日（木）に**書初め**を行いました。半紙を目の前にして「うーん…今年は何を書こうかな？」と天井を見上げて悩む人、筆を持ち勢いよく動かす人、半紙いっぱい文字を書く人など、書く文字も十人十色でさまざまです。今年は入居者の皆さんが眺められるように掲示板に貼りだしました。個性あふれるたくさんの墨字が堂々と壁面を埋め尽くし、今年一年の意気込みが伝わってくるようです。



いつもと同じ？ （違う？） 郷のお正月

今年の**初詣**は直接神社への参拝をするのではなく、リモートで瀬郷子聖神社へ参拝しました。方法としては参拝を模した動画の視聴です。映像は、瀬郷公民館前の交差点からスタートし神社に向かって移動していきます。鳥居をくぐり手水舎、社殿に進みます。ここで皆さんお祈りをしました。「実際に参拝した気分になったよ。」との感想もいただきました。新しい参拝方法で一年がスタートしました。

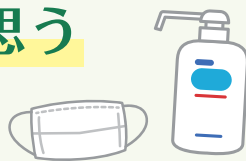


お正月はなんと言っても、美味しい**おせち料理**をいただくことが最大の楽しみです。きんとんに伊達巻にと定番のお料理もいいですし、刺身や煮物などもあらたまっていただくと、また格別に美味しいですね。厨房職員の皆さん今年もよろしくお願いします。



コロナ禍に思う

福井 治



次男の康仁が希望の郷でお世話になっています。昨年来のコロナ禍にあって「新年おめでとうございます」に微妙な違和感を覚えながらもご挨拶の筆を執りました。

読売新聞のジョーク投稿記事に「賀少」が多かったと載っていました。なるほど、賀少でもプラス方向なら良しとすべしと妙に納得した次第です。

我が家も次男が帰宅制限となり希望の郷で新年を迎えましたが、これも「少」の一つと考えれば、家族全員、さらには近しい方々も皆平らかな新年を迎えられたことは幸いなことと思います。ご尽力くださっている希望の郷の職員の皆様や関係の皆様に改めて御礼申し上げます。

さて、コロナ禍はますます拡大の傾向にあり、国をあげての施策が打ち出されています。それぞれの立場で議論が交わされ、どの意見も重要な問題ばかりですが、やはり生命を第一にという考えを基本において理論をすることが順当なことではないでしょうか。解決への大局的な方向性は医療の専門家や政治家に委ねるとして、さらに重要な事は個人個人がどう対処していくかと云う事だと思います。医療知識は無いまでも、「マスクの着用」「消毒の励行」「換気」「三密」の徹底などを必ず守ることが大切だと思います。ワクチンが使われるようになるまでは、一人一人のそうした努力こそが最良の索なのかなと思われます。

また、献身的にご尽力いただいている医療従事者の皆様、警察、消防、介護施設、配送に携わるなど多くの方々に絶大の感謝をしたいと思います。

摂食指導・専門研修に参加して

健康課理療担当 丸山芽里

2020年11月1日に開催された「摂食嚥下困難を持つ人への対応を見直してみませんか？」という研修に参加してきました。

席につくとテーブルには普通の研修では見かけないものが用意されていました。プリンにヨーグルト、かっぱえびせん、それにお水と大きめのスプーンです。

この研修は講義ばかりではなく、口唇や舌、歯や咽喉などをどのように使い、様々な大きさ、形状、硬さのものを摂食嚥下しているのかをテーブルに用意されている食材を実際に食べながら感じ取り、講義内容と関連付けて学習していく「参加者参加型・自己体験実習型研修会」でもありました。

「かっぱえびせんの先をひとかじりしてほと

んど噛まずにそのまま飲み込む。」という丸呑み込みを想定した体験がありました。苦しいながらもなんとか飲み込みましたがのどごしも悪い上、咽喉にえびせんが留まり違和感がしばらくありました。同時に飲み込みも吐き出すもできない状況に不安も感じていました。

「食べることが大好きな私ですらスムーズに飲み込めないだけで、食べることがこんなに大変なものになってしまうなんて…。」普段何も意識することなく「食べる」ということを繰り返してきましたが、いつまでも安心・安全に楽しくお食事ができることがどれだけ大切か身をもって体験した気がしました。また研修で感じた多くの気づきを大切に、学んだことを入居者さんの生活

・支援にどう反映させていくか切磋琢磨しながら形にしていけたらと思います。



せせらぎ会だより

寒中お見舞い申し上げます



コロナ禍の年末年始。自粛ムードで明けた令和三年。感染源とされる中国・武漢に端を発した新型コロナウイルスの世界的感染拡大から1年。世界の累計感染者数が9千万人を記録(WHO広報)。日本では、1月8日から2月7日まで、2度目の緊急事態宣言が一都三県(東京・千葉・埼玉・神奈川)に発令されました。1月12日、国内の新型コロナウイルス感染者数29万4348人・死者4128人を記録(NHKニュースおはよう日本)。新年早々、わずか十日あまりで、6万人を超える感染者と6百人を超える死亡者数を更新。危惧されていた医療崩壊寸前の危機に直面している。

昨年春、未知なる新型コロナウイルス感染症との闘いで日本型感染症対策が日本モデルとして、WHO(世界保健機関)で評価されたことが嘘のようです。もう一度、感染症対策の初心に戻る必要があるかも知れません。(のど元過ぎれば熱さ忘れる。決してアクセルとブレーキのかけ違いは笑いごとでは許されません)。とくに、政策を講じる責任ある立場の人間の言行不一致など論外です。「若い人達にたいする教訓はすべて、言葉よりむしろ行動で示せ」とは、ルソーの箴言です。

さて、この希望通信がお手元に届く2月は暦の上では立春を迎えます。自然の摂理は、「冬来たりなば春遠からず」です。私達は、いまでできる最善の対策を今までどうり講じて、職員・スタッフ・住人一同、こころ一つにしてこの難局を乗り越えたいと思います。この冬は、ことのほか寒さ厳しいゆえ、皆様くれぐれもご自愛ください。寒中、庭の水仙が凜と咲いています。 文責.自治会(K.I)



希

望

の

バ

ト

ン



神輿の思い出

ライフ湘南 辻本 尊

はい、高野課長バトンを受け取りました。ライフ湘南の辻本尊です。異動してまだ2年目の新人ですが、軽作業部門で毎日忙しく働かせていただいています。異動前は、希望の郷本館に7年、ナイトケアセンターに14年間在籍していました。専門学校の実習も希望の郷でしたので、人生の半分以上を光友会にお世話になっています。

何もかも「自粛」の現状で、今年度の祭も同様に中止されましたが、18歳から父親と一緒に始めた『神輿』の思い出話を少々。父親は私の始める1年前から担ぎ、「面白いから一回一緒にやってみない?」と誘われ、一回参加しただけではまっけてしまいました。誰もが参加出来るわけではなく、『神輿会』に所属しないと担がせてもらえないので、父親が入会した『藤澤 湘南睦』という会にすぐに入会しました。

何百kgある神輿を肩ひとつで担ぐ。最初は肩

が痛く逃げ腰になってしまい、なんでその皮がめくれるの?と言われる所を毎回擦りむいていました。色々な神輿渡御が行われる祭に参加し肩を鍛え、肩ではなく首の付け根で担ぐことを学習し、擦りむくことが徐々になくなっていきました。肩が痛くなくなり、楽しさが倍増し、藤沢周辺以外にも横須賀の米軍基地、池袋、茅ヶ崎の浜降祭など色々な祭に参加し、『仲いい親子だね』と周りから言われていました。

33歳位まで続け『湘南睦』の会長をやっていたのですが、ちょっと体調を崩し、二人揃って腰痛も発症してしまい、今は休会中です。とにかく1日でも早くコロナウィルスが収束してくれることを願い、体調も万全にして復活したいと思って、今は自粛頑張っています。

次は同じライフ湘南の衛藤職員にバトンを託します。

陶芸始めました



昨年の9月に陶芸を始めた八巻智子さん。職員と一緒に土を叩いたり、型抜きしたり、失敗も繰り返しながら、一生懸命作陶されています。満足のいく作品はできたでしょうか？出来上がった作品はお部屋に飾って、「可愛く出来たね」「色が素敵だよ」職員さんとの会話も弾みます。



コロナに負けるな！ 光友会打ち上げ花火

昨年12月22日17時30分 ドーンとおなかに響く大きな音と共にふくし村の前に広がる田んぼの空に大きくて華やかな花火が色鮮やかに花開きました。様々な活動が自粛や中止を余儀なくされ、それでもいろいろな形で光友会を応援して下さいの皆様へ感謝の気持ちと元気をお届けしたい、そして新型コロナウイルスの終息祈願の願いも込めて企画されたものです。当日は寒波到来もあって寒い夕方でしたが、澄み渡った夜空に色とりどりの花火が上がると、同時に元気な歓声も上がり、皆同じ思いでこの花火大会を楽しみました。



献立委員会



2021年正月、三が日はお祝い膳で新年を祝います。元旦に並んだお料理は、ぶりの照り焼き・伊達巻・黒豆・栗きんとん・サーモンマリネ・焼き海老・蒲鉾・錦卵・お雑煮等と、とても豪華で艶やかな色合いです。

日頃からまめに感想を伺うようにしておりますが、力を入れたメニューへのご意見は特に気になります。「ぶりが脂がのっていてとても美味しかった」「焼き海老がうまかった！尻尾まで全部食べちゃったよ」「お雑煮に野菜が沢山入っていて食べ応えがあったよ」「お品書きが付いていて特別感があるね」など、早々に嬉しい感想をいっぱいいただきました。

おせち料理に込められた願いのように皆さんの今年1年が「福」多き年になりますようにと祈りつつ・・・



◆2月の予定◆



健康課より

藤沢病院 石井Dr.来診

4日(木)

厚誠会歯科検診

2日(火) 9日(火)

16日(火) 23日(火)

御所見病院 安田Dr.来診

10日(水) 24日(水)

行事

藤沢病院 石井Dr.来診

3日(水)

編集後記

子供の冬休みの宿題が、午後7時と9時頃の「オリオン座」の観察というものでした。星座のことが詳しくない私は、事前に教科書を読んだりネットで調べて猛勉強。しかし、早見表を使って夜空を見てもオリオン座の特徴の一つであるきれいに並んだ三つ星や赤く輝いているはずのベテルギウスもなかなか見つけることができず大苦戦。子供よりも私の方が毎晩夜空を見るようになり、冬休みが終わる2日前にようやく見つけることができました。今回をきっかけに夜空を見るのが楽しくなってきたので、次は春の大三角を探してみようと思っています。(Y.K)

